

日時 : 2014年12月18日(木) 13:00 ~ 17:00

場所 : 塗料報知新聞社 会議室

出席者 : 分科会長: 窪井要((有)久保井塗装工業所)、

副分科会長: 内山貴織(東和酵素(株))、高橋大(株三王)、

魚谷英未(株アースクリーンテクノ)、岡田久佳(株岡久)、

幹事: 平野克己(日本塗装機械工業会)、

アドバイザー: 田村吉宣(いすゞ自動車(株))、坂井秀也(坂井技術士事務所)

ゲスト: 藤井俊治(株三菱化学テクノリサーチ)、片山眞司(J&Sエンジニアリング(株))、

矢野明子(東京都環境局環境改善部化学物質対策課)、

稲田建(九州工業塗装協同組合・(株)花菱塗装技研工業)、毛利昌康(株デライト)、

吉野和彦(株明治機械製作所)、鬼頭浩二(旭エレクトロニクス(株))、

望月徳三(東京ガスケミカル(株))、上原恵美、山岸達矢(東京大学)、

福田和彦、姫野拓也(ミリオン化学(株))、東成エレクトロビーム(株) 上野邦香、

(株)コスモス 飯塚隆人、(有)アキラックス 木下制

事務局: 有馬、藤井(塗料報知新聞社)

25名 敬称略

\*\*\*\*\* 議題 \*\*\*\*\*

1. 分科会長挨拶

情報提供の場でもある本会で共有したものが膨れあがってきている。今後もおもしろいと思ったテーマを紹介し共有していきたいが、本会は何を目指すのかを考えないといけない。今までは皆様のご理解のもとボランティアでやっていたが経費くらいはねん出できるような体制を作りしっかりと組織化を考えたい。

2. 初参加者挨拶

東成エレクトロビーム(株) 代表取締役社長 上野邦香

ミリオン化学(株) 営業部担当部長 福田和彦、東京営業所 姫野拓也

(株)コスモス 常務取締役 飯塚隆人

(有)アキラックス 常務取締役 木下制

3. 議題

①CEMAシンポジウム報告(岡田)

10月22日、東京塗料会館と大阪塗料会館で同時開催した。前回速報を伝えたが今回はアンケート結果を集計し報告。参考になったテーマは、IPCO3社で約5割。IPCO3社はよく分からなかったテーマにはほとんど入らなかった。参加動機は、最新技術を聴きたいが6割以上。次回は何が聞きたいかには、塗装システム、塗装設備で21%ずつ、以下塗装機16%、塗料情報14%。

②九州工塗協セミナー報告(稲田)

日本海セミナーと同形式で1日目講演、2日目実演という形で開催。結果として、組合員2社増、トヨタ九州からも非常に良い話を聴けたとの評価をいただき大成功であった。

1日目は35社58名。九州工塗協からは10社程度参加。以下アンケート結果から。

出席者の業種別では、製造業14社、工業塗装は15社、販売店9社、塗装機器・設備業6社。

セミナーを知ったきっかけは、事務局・組合員からの紹介参加が6割。

参加の動機としては各テーマに分散していて全体的に商売の新しいネタ探しといったところ。

セミナー内容は良かったという評価が9割。3/4 が分かりやすかった。

今後参考になる意見として「もう少し現場に近い内容が欲しい」、「テーマが多くて頭に入りきらない」「今後のトレンドがもう少し欲しい」「ゴミブツ対策による直行率の向上などの話を聞きたかった」等。

### ③近畿経済産業局のVOC排出抑制対策セミナー（平野）

昨日(12/17)、大阪で開催。100名参加があった。

「塗装工程におけるVOC抑制対策」というテーマにてIPCOで今まで実践した実施例をもとに発表した。

この場で経済産業省からは今後も幅広くVOC削減を目指すとの話があり、日本政策金融公庫から環境関係であれば優先的に貸出すとの話があった。

今後、広島、群馬、埼玉のVOCセミナーで窪井氏講演予定。(藤井)

### ④今後のIPCO活動内容

#### ④-1 塗装技術4月号 IPCO 座談会

前回はIPCOとは?というテーマ。今回は、地方セミナーでの反響・今後の展開・発展などをテーマとして3月6日(金)メンバー:内山(座長)、田村、岡田、窪井、高橋、石井、片山、魚谷、塘で決定。

#### ④-2 来年のセミナー

日本海セミナー 7月実施希望。今回は(株)岡久主催で

九州セミナー 9月実施希望 来年は宮崎県で九州工塗協主催

CEMA シンポジウム 10月末予定

長野県(株)NCCがIPCO主催・NCC協賛という形でやりたい。時期は5、6月頃、次回NCC担当者で打合せ。(株)NCCは長野県の塗料販売店。

各地で講演会、講習会の依頼がでてきている。

今までのアンケート結果から求められているテーマは、「最新情報」と「ゴミブツ」の2つに大別できる。講演会と講習会の違い、講演会は基本的に最新情報の提供、講習会は既存技術の伝達。講演会は常にUpdateが必要。講習会のほうは台本(ネタ)があれば講師はあまり選ばない。IPCOとして台本(ネタ)を共有し今後各地での講習会開催が可能となるようにしたらどうか?

### ⑤IPCO HPIについて(高橋)

IPCOの独自ドメインを取得した。「ipco.org」。内容はトップページ、IPCOとは、セミナー(活動報告)、議事録、リンク、そして会員専用ページで作成していく。

### ⑥プレゼン:レーザクリーニング装置「イレーザー」(東成エレクトロビーム(株) 上野社長)

「イレーザー」はレーザーによる非接触洗浄装置。母材に損傷を与えず、スピーディーかつ簡単に塗膜、サビや樹脂残渣等の汚れを洗浄・除去することが可能。同様の装置は世界で数社上市しているが、価格は数千万円、「イレーザー」は670万円。

アルミ上のアルマイト膜の剥離やジーンズのダメージ処理で使われている。塗膜除去は試しているが、厚膜になると多少時間がかかるものの十分効果はある。出力と周波数と装置の送り速度の調整で剥離と母材保護が可能となる。

東成エレクトロビーム 上野会長は塗装をサポインに入れる際委員として尽力して頂いている。(窪井)

### ⑦セッティングに関して調査(上原・山岸)

工業塗装の場合、塗装(塗布)は 吹付・セッティング・焼付という工程となるが、VOC・CO2排出量を各工程別に測定する方法あるいは測定した事例はあるのか?各工程での排出量を測定することで得られるものがあるのでは?

ブース、乾燥炉の排気箇所に測定装置を設置することで測定は可能だがセッティングと焼付を分けることは不可能。また VOC 量を把握するのに実測データの積み上げをすることはなく、塗料と溶剤の使用量から VOC 量を算出することが一般的。塗料設計時に理論値としてあるかもしれない。

日本 LCA 学会研究発表会 (山岸達矢)

2014 年 3 月 4~6 日 芝浦工大にて開催。口頭発表で賞をいただいた。テーマは「塗装における環境配慮型プロセス設計」。

⑧東京都環境局から(矢野)

東京都 VOC 対策ガイド改訂する予定、その際には IPCO にも協力をお願いする。

来年度業種別セミナーで塗装をやりたいと考えている。もう少し集客が必要。PR に力を入れたほうがよいか? 都内の事業者向けに VOC アドバイザーの利用もお願いします。

※次回分科会開催予定

第9回環境技術分科会 2015 年 3 月 19 日(木) 13 時 ~ 17 時 塗料報知新聞社 会議室

————— 以 上 —————